

令和5年度 大分県地域年金事業運営調整会議資料

令和5年9月5日



日本年金機構

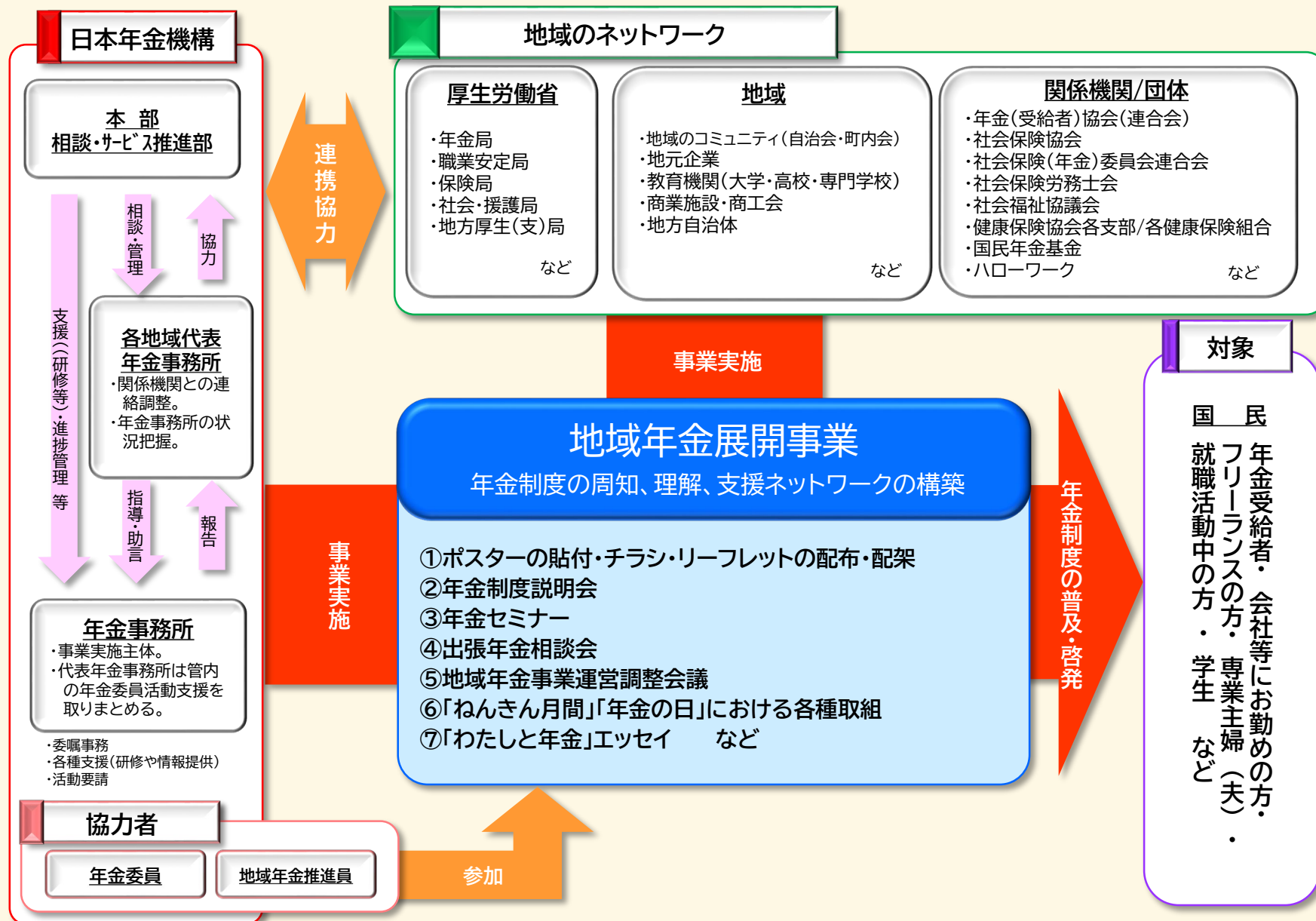
Japan Pension Service

目 次

1. 地域年金展開事業の概要	1 ~ 3
2. 令和4年度事業実施結果報告（令和4年4月～令和5年3月）	4 ~ 28
3. 令和5年度事業計画（案）	29 ~ 35
4. 参考資料	36 ~ 40
(1) 大分県の厚生年金保険・国民年金保険の状況	
(2) 各年金事務所の国民年金被保険者数及び納付状況	
(3) 地域型年金委員数の推移（令和4年4月～令和5年3月）	
(4) 職域型年金委員数の推移（令和4年4月～令和5年3月）	

1. 地域年金展開事業の概要

地域年金展開事業の概要



地域年金展開事業の主な取り組み

- ◆公的年金制度の普及・啓発や国民年金保険料収納の向上等のため、関係機関との連携協力のもと『年金制度説明会』や『年金セミナー』、『出張年金相談』等を実施します。
- ◆また、日本年金機構が取り組む公的年金制度の普及・啓発活動について、都道府県ごとに関係者や有識者からなる『地域年金事業運営調整会議』を開催し、事業推進の意見や助言を伺います。

《本来の取組内容》

地域連携事業

- ・職員が自治体や民間企業、関係団体等に出向き、事務担当者や従業員向けの年金制度説明会を実施。
- ・市区役所・町村役場の広報誌や行事等を通じ年金制度や日本年金機構が行う事業の周知、ポスター・チラシの掲示や設置、配付の依頼等。

年金セミナー事業

職員が、大学や専門学校、高校等に出向き、学生・生徒向けの年金セミナーを実施。大学での年金相談や学生納付特例制度の申請窓口の開設や、パンフレットの掲示や設置、配付の依頼等。

地域相談事業

年金事務所から遠方の地域住民や利便性などのニーズに応えるため、市区役所・町村役場や大規模商業施設、イベント会場等で、出張年金相談や免除申請窓口を開設。

年金委員 活動支援事業

年金委員を対象とした研修会の開催や、各種冊子・チラシ等、活動に役立つ情報を提供。

地域年金事業 運営調整会議

公的年金制度の普及・啓発等についての検討や年金事務所が行う事業への意見・助言を行うため、学識経験者や関係機関等を委員として都道府県単位に設置。

2. 令和4年度事業実施結果報告

(令和4年4月～令和5年3月)

○地域連携事業

計画		実績	総括及び課題																										
市町村・官公庁	① 市町村等に対し、窓口での年金制度に関するポスターの掲示及びリーフレットの設置等を依頼し、地域住民への情報提供の充実を図る。	① 市町村に対し、年金生活者支援給付金や新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた各種対策に関するポスターの掲示及びリーフレットの設置等を依頼し、地域住民への周知広報を実施した。 また、市町村や地域型年金委員に日本年金機構アニュアルレポートを送付し、事業運営の状況や目標の達成状況について報告を行った。	○ 市町村の担当者が、日頃の業務の中で難しいと感じていること、疑問に思っていることが少しでも解決できるよう、実践的な研修となるよう努める。 ○ 国民年金の適用・収納については、市町村との緊密な連携が不可欠であるため、オンラインの活用を含め研修会や意見交換の機会の充実をさらに進めていく必要がある。また、年金受給者を増やすことが生活保護者を減らすことにつながることで各市町村の財政にも直接影響することも併せて説明していく。																										
	② 市町村広報誌等を活用し、年金制度や出張相談にかかる周知を行う。	② 市町村広報誌へ出張相談の日程などの年金に関する記事を提供し、地域住民への広報を行った。																											
	③ 市町村職員への研修、説明会を定期的に実施する。	③ 市町村職員への研修を以下のとおり実施した。																											
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>実施日</th><th>事務所</th><th>対象市町村</th><th>参加数</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R4.6.9</td><td>別府</td><td>別府市、中津市、豊後高田市、日出町</td><td>4名</td></tr> <tr> <td>R4.6.15</td><td>別府</td><td>宇佐市、姫島村</td><td>3名</td></tr> <tr> <td>R4.6.29</td><td>佐伯</td><td>佐伯市、津久見市</td><td>9名</td></tr> <tr> <td>R4.11.29</td><td>日田</td><td>日田市、九重町</td><td>7名</td></tr> <tr> <td>R4.12.8</td><td>日田</td><td>日田市、玖珠町</td><td>2名</td></tr> <tr> <td>R4.12.16</td><td>大分</td><td>豊後大野市</td><td>6名</td></tr> </tbody> </table>		実施日	事務所	対象市町村	参加数	R4.6.9	別府	別府市、中津市、豊後高田市、日出町	4名	R4.6.15	別府	宇佐市、姫島村	3名	R4.6.29	佐伯	佐伯市、津久見市	9名	R4.11.29	日田	日田市、九重町	7名	R4.12.8	日田	日田市、玖珠町	2名	R4.12.16	大分
実施日	事務所	対象市町村	参加数																										
R4.6.9	別府	別府市、中津市、豊後高田市、日出町	4名																										
R4.6.15	別府	宇佐市、姫島村	3名																										
R4.6.29	佐伯	佐伯市、津久見市	9名																										
R4.11.29	日田	日田市、九重町	7名																										
R4.12.8	日田	日田市、玖珠町	2名																										
R4.12.16	大分	豊後大野市	6名																										

実施日	事務所	対象市町村	参加数
R5.1.13	大分	竹田市	5名
R5.1.26	佐伯	佐伯市	4名
R5.2.3	佐伯	佐伯市、津久見市、臼杵市	9名
R5.2.7	別府	中津市	6名
R5.2.8	別府	国東市	4名

九州厚生局との共催により、九州管内市町村職員への事務説明会を開催した。新型コロナウイルス感染症対策として、昨年度同様、機構のテレビ会議システムを活用し博多年金事務所から発信する方法で大分県内の各年金事務所で開催した。

開催日：令和4年11月29日及び12月8日

テーマ：支援給付金に係る交付金事務について
国民年金に係る適用事務等について
障害年金について

- ④ 市町村担当職員向け情報誌を定期的に発行し、制度改正や事務処理上の留意点について情報提供を行う。

- ④ 市町村担当者向け情報誌「かけはし」を定期的に発行し、制度改正や事務処理上の留意点について、タイムリーな情報提供を行った。
送付時期：5月、7月、9月、11月、1月、3月（奇数月に発行）

- 市町村の事務担当職員へ事務処理に効率的な情報を提供していくため、市町村職員の研修会などを通じて意見集約し、情報発信に努める。



計画

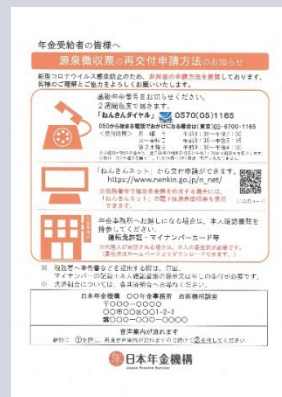
実績

総括及び課題

市町村・官公庁

- ⑤ 国税局・税務署へ広報チラシの設置を依頼する。

- ⑤ 確定申告時の窓口混雑緩和のため、大分県内税務署に対し「年金受給者の源泉徴収票再発行手続き」及び「国民年金保険料控除証明書再発行手続き」に関するチラシの設置依頼を令和5年1月実施。



全国健康保険協会

- ① 定期的に連絡会議を開催し、情報共有を図る。
- ② 機構及び全国健康保険協会の業務にかかる研修会を相互に実施する。
- ③ 全国健康保険協会と共催で年金委員功労者表彰式を開催する。

- ① 令和4年8月26日（金）
日本年金機構・全国健康保険協会大分支部連絡会議
- ② 実施企画の協議は行ったが、新型コロナウイルス感染症の影響により開催できなかった。
- ③ 令和4年11月18日に年金委員・健康保険委員功労者表彰式を開催した。
※ 詳しくはP23「ねんきん月間」及び「年金の日」における取り組みで報告

- 厚生年金保険の適用に伴う保険証の発行や、健康保険の給付と年金の給付など、相互に関連する業務について理解を深めることは、お客様サービスの観点からも非常に重要であることから、引き続き連携強化を図る。

計画

実績

総括及び課題

社会保険労務士会

- ① 定期的に連絡会を開催するとともに、適宜情報提供を行う。

- ① 新型コロナウイルス感染の影響もあり最小限での開催となった。

実施日	場所	主な議題	参加数
R4.7.17	大分年金事務所 会議室	年金相談	4名
R4.9.1	大分年金事務所 会議室	電子申請	6名

- ② 会員に対する研修会を開催する。

- ② 新型コロナウイルス感染の影響もあり開催できていない。

- 受給開始時期の選択肢の拡大や被用者保険の適用拡大などの大きな制度改革がありました。機構の事業推進には社会保険労務士会との連携が不可欠であることから、さらに協力連携を進めていく。

社会保険協会

- ① 社会保険協会発行の広報誌へ記事を掲載し、会員事業所への情報提供を行う。

- ① 奇数月に発行される社会保険協会発行の広報誌「社会保険おおい」に記事を掲載し、情報提供を行った。

<主な掲載記事>

- ・電子申請の推進
- ・算定基礎届・賞与支払届提出の案内
- ・「わたしと年金」エッセイ募集
- ・ねんきんネットの利用促進
- ・被用者保険の適用拡大

- ② 社会保険協会主催の研修会に講師を派遣し、年金制度の説明や事業への協力依頼を行う。

- ② 社会保険事務説明会

地区	場所	実施日	参加数
大分	ホルトホール大分	R4.9.27	46名
別府	中津市教育福祉センター	R4.10.5	15名

- 記事掲載による情報発信をさらに効果的なものとするため、より分かりやすく読みやすい記事となるよう工夫する。

- 社会保険事務説明会については、事業所の社会保険事務担当者へ対し、制度説明、届書等の記入方法、諸手続きに係る注意点などを説明。説明会は2部制で、日本年金機構と全国健康保険協会大分支部の講師をそれぞれに派遣している。

計画

実績

総括及び課題

社会保険協会

地区

場所

実施日

参加数

別府

国東中央公民館

R4.10.18

6名

別府

別府市社会福祉会館

R4.10.25

17名

佐伯

臼杵市中央公民館

R4.11.2

8名

大分

大分県教育会館

R4.11.9

36名

別府

宇佐市さんさん館

R4.11.16

11名

佐伯

佐伯市健康福祉センター和楽

R4.11.24

17名

日田

アオーゼ日田

R4.11.29

14名

○シニアライフセミナー

実施日

場所

参加数

R4.10.12

ホルトホール大分

22名

- シニアライフセミナーについては、参加対象者は、50歳以上の厚生年金保険の被保険者及びその配偶者、または事業所の職域型年金委員又は事務担当者。「社会保険制度の仕組みと手続きについて」のテーマに基づき大分年金事務所より講師派遣を行っている。

計画		実績	総括及び課題										
社会保険委員会	① 社会保険委員会主催の会議に出席し、年金制度の説明や事業への協力依頼を行う。	① 新型コロナウイルス感染の影響もあり開催できていない	○ コロナ禍により3年間開催が中止されている状況なので、令和5年度以降は各年金事務所において社会保険委員会と連携し、開催できるように努める。										
	② 社会保険委員会連合会と共催で年金委員功労者表彰式を開催する。	② 令和4年11月18日に年金委員功労者表彰式を開催した。 ※ 詳しくはP25「ねんきん月間」及び「年金の日」における取り組みで報告											
自治体・町内会等	① 地域住民への年金制度説明会を開催する。	① 大分市の社会福祉協議会より依頼があり、下記のとおり実施 <table><tr><th>事務所</th><th>日時</th><th>場所</th><th>主な議題</th><th>参加数</th></tr><tr><td>大分</td><td>R4.10.5</td><td>大分市市民後見人養成講座</td><td>年金給付について</td><td>8名</td></tr></table>	事務所	日時	場所	主な議題	参加数	大分	R4.10.5	大分市市民後見人養成講座	年金給付について	8名	○ 地域住民のニーズを的確につかみ、地域住民が容易に理解し、かつ役に立つような制度説明ができるように努める。また、今後は地域型年金委員地区連絡会などを通じ、積極的に自治体・町内会などに年金制度の広報活動に協力依頼していく。
事務所	日時	場所	主な議題	参加数									
大分	R4.10.5	大分市市民後見人養成講座	年金給付について	8名									

10

計画

実績

総括及び課題

企業・団体等

① 企業や団体の従業員に対し、年金制度説明会を開催する。

事務所	実施月	説明内容	団体数
大分	4月～3月	老齢年金の手続きについて	2
	4月～3月	障害年金制度について	2
	4月～3月	電子申請利用促進	12
別府	4月～3月	老齢年金の手続きについて	0
	4月～3月	障害年金制度について	0
	4月～3月	電子申請利用促進	0
日田	4月～3月	老齢年金の手続きについて	32
	4月～3月	障害年金制度について	0
	4月～3月	電子申請利用促進	17
佐伯	4月～3月	老齢年金の手続きについて	1
	4月～3月	障害年金制度について	0
	4月～3月	電子申請利用促進	0

② 企業や団体に年金に関する情報提供を行うとともに、関係者への周知を依頼する。

② 年金相談の予約制の広報やねんきんネット、年金制度改正等に関するチラシやリーフレットを配布し被保険者等への周知依頼を行った。

- オンラインによる制度説明会が可能であることを広く周知し、民間企業への制度説明会開催のアプローチをさらに進めていく。
- 今後も取り組みを継続するとともに、企業のニーズを的確につかみ、さらなる連携強化を図る。



マスメディア

① 「エッセイ募集」等について、マスメディアを活用した広報を行う。

① 大分県政記者室に対し、以下のとおりプレスリリースを行った。
・令和4年6月16日 令和4年度「わたしと年金」エッセイ募集
・令和4年11月8日 「ねんきん月間及び年金の日のお知らせ」

- マスメディアを活用した周知広報は、まだ十分にできていない状況にあるため、今後は他の地域の取り組みも参考にしながら、有効な方策を検討する。

○年金セミナー事業

計画	実績	総括及び課題
① 年金セミナーの実施に向け、教育関係機関への協力依頼を行う。 ② 中学校・高校・大学・専門学校等に対し、積極的なアプローチを行う。 また、アプローチを行う際は、地域年金推進員を積極的に活用する。	① 大分県教育庁、高校教育課、義務教育課へ年金セミナー開催「エッセイ」募集への協力依頼を行った。 ② 中学校・高校を中心に地域年金推進員による年金セミナーのアプローチを実施した。 ※ 詳しくはP17「学校へのアプローチ」で報告  知っておきたい 年金のはなし 公的年金 「はじめのはじめ」 令和4年度 厚生労働省 日本年金機構	○ 新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、オンラインによる年金セミナーの開催を積極的に推進していく。 ○ 学校側のカリキュラムやニーズを十分把握するとともに、多様な年金セミナーが実施できることを積極的にアピールし、数あるセミナーの中から年金セミナーを選んでいただけるよう努める。 ○ 校長OBである地域年金推進員によるアプローチは非常に有効である。今後も連携を密にして取り組みを進めていく。 

計画

実績

総括及び課題

- ① 新型コロナウイルス感染症対策を徹底した上で、各学校の状況や要望に応じた年金セミナーを開催する。

- ① 年金セミナーの開催実績は以下のとおり。

	学校名		実施日	参加数
大分	大分中学校	対面	R4.7.14	66名
	大分市立大在中学校	対面	R4.7.19	300名
	大分市立王子中学校	対面	R4.8.30	200名
	大分経理専門学校	対面	R4.10.17	7名
	大分市立碩田学園（中学校）	対面	R4.11.11	110名
	大分市立大分西中学校	対面	R4.11.28	146名
	府内学園（専門学校）	対面	R4.12.5	9名
	大分市立城東中学校	対面	R4.12.7	205名
	大分市立吉野中学校	対面	R4.12.20	38名
	智泉幼児保育専門学校	対面	R4.12.22	39名
	大分市立竹中中学校	対面	R5.1.12	16名
	大分県立三重総合高等学校	対面	R5.1.17	115名
	大分市立植田中学校	対面	R5.1.26	160名
	学校法人稲葉学園 稲葉学園高等学校	対面	R5.1.27	46名

- 年金セミナーについては、直接生徒に説明する方が伝わりやすいと考えるご担当の先生方が多く、すべて対面式の開催となった。

年金セミナーの開催

計画		実績					総括及び課題	
		事務所	学校名		実施日	参加数		
		大分	大分県立情報科学高等学校	対面	R 5.1.30	160名		
			竹田市立久住中学校	対面	R 5.2.9	17名		
			学校法人岩田学園 岩田高等学校	対面	R 5.2.16	90名		
			学校法人ザイナスアカデミー 田北調理師専門学校	対面	R 5.2.27	31名		
			学校法人府内学園 府内高等学校	対面	R 5.3.10	60名		
		別府	中津市立東中津中学校	対面	R4.11.9	90名		
			大分県立宇佐産業科学高校	対面	R4.12.9	98名		
			杵築市立杵築中学校	対面	R4.12.14	128名		
			大分県立別府翔青高等学校	対面	R5.1.17	230名		
			大分県立国東高等学校	対面	R5.1.31	144名		
			別府市医師会立別府青山看護学校	対面	R5.2.28	21名		

14

年金セミナーの開催

計画		実績					総括及び課題	
		事務所	学校名		実施日	参加数		
		日田	大分県立日田三隈高校	対面	R4.12.7	97名		
			大分県立玖珠美山高校	対面	R4.12.11	55名		
			大分県立日田林工高等学校	対面	R5.1.11	55名		
			藤蔭高等学校	対面	R5.1.12	102名		
		佐伯	大分県立佐伯高等技術専門校	対面	R4.4.8	31名		
			津久見市立第二中学校	対面	R4.9.8	43名		
			佐伯市立鶴谷中学校	対面	R4.10.7	173名		
			オペレーションズマネジメントスクール	対面	R4.11.10 R4.11.17	13名		
			臼杵市立東中学校	対面	R4.12.12	36名		

15

計画

実績

総括及び課題

<合計>

	開催 数	参加数	オンライン	D V D	対面
中学校	15	1,728	0	0	15
高等学校	12	1,252	0	0	12
大学・短大	0	0	0	0	0
専門学校 各種学校	7	151	0	0	7
計	34	3,131	0	0	34

- 合計の開催数は、令和3年度の27件から34件へ増加。
参加者数についても令和3年度1,788名から3,131人へ増加している。
増加の要因は、中学校が令和3年度は2件だったが、令和4年度は15件と大幅に増加したことによる。
対して、専門学校各種学校では令和3年度13校から令和4年度7校に減少。
- 中学校を中心とした地域年金推進員のセミナー開催アプローチが功を奏したものの。
- 国民年金制度に一番身近な「大学・短大」でのセミナー開催が、昨年度と同様、大分県内で1度もない状況。
高校での開催も昨年度比で同数となっている。高校、大学および短大、専門学校へのセミナーのアプローチ拡大については、推進員の拡大を含め、今後の課題である。

計画	実績	総括及び課題
① 地域年金推進員を積極的に活用し、年金セミナー開催のアプローチを行う。	① 学校へアプローチ ・ 訪問：94校（R4.4.1～R5.3.31） 内訳 中学校 36校 高校 45校 支援学校 10校 専門学校 1校 短大 1校 大学 1校	○ 年金セミナーの開催件数については、前述のとおり増加した。 今後も、年金セミナーの活性化のためには地域年金推進員の協力が極めて重要であるため、勧奨方法を検討の上、今後も引き続き連携を強めていく。
	② 地域年金推進員に対する研修会や連絡会議を開催し、意見交換・情報共有を行う。	② 高等学校あて年金セミナー意向調査文書のアドバイス 高等学校への年金セミナーアプローチの打合せ（7月実施）

地域年金推進員

17

○地域相談事業

市町村

計画	実績	総括及び課題																																																						
市町村	① 遠隔地の市町村において、定期的に出張年金相談を開催する。	① 各市町村における出張年金相談の開催状況は以下のとおり。 (令和4年4月～令和5年3月)	○ 新型コロナウイルス感染症の感染予防対策を徹底したうえで実施することができた。 ○ 遠隔地にお住いの被保険者・受給者にとって、出張年金相談は極めて重要な相談の機会であり、多くのニーズもあることから、引き続き市町村や関係機関と連携しながら実施していく。																																																					
		<table><tr><th>事務所</th><th>開催場所</th><th>開催頻度</th><th>開催数</th><th>相談件数</th></tr><tr><td rowspan="5">大分</td><td>竹田市</td><td>毎月</td><td>12回</td><td>158件</td></tr><tr><td>大野町</td><td>毎月</td><td>12回</td><td>32件</td></tr><tr><td>三重町</td><td>毎月</td><td>12回</td><td>129件</td></tr><tr><td>庄内町</td><td>隔月</td><td>6回</td><td>16件</td></tr><tr><td>湯布院町</td><td>隔月</td><td>6回</td><td>14件</td></tr><tr><td rowspan="2">別府</td><td>宇佐市</td><td>毎月</td><td>12回</td><td>118件</td></tr><tr><td>豊後高田市</td><td>毎月</td><td>12回</td><td>122件</td></tr><tr><td rowspan="2">日田</td><td>玖珠町</td><td>毎月</td><td>12回</td><td>59件</td></tr><tr><td>九重町</td><td>隔月</td><td>6回</td><td>18件</td></tr><tr><td rowspan="2">佐伯</td><td>臼杵市</td><td>毎月</td><td>12回</td><td>98件</td></tr><tr><td>津久見市</td><td>隔月</td><td>6回</td><td>19件</td></tr></table>		事務所	開催場所	開催頻度	開催数	相談件数	大分	竹田市	毎月	12回	158件	大野町	毎月	12回	32件	三重町	毎月	12回	129件	庄内町	隔月	6回	16件	湯布院町	隔月	6回	14件	別府	宇佐市	毎月	12回	118件	豊後高田市	毎月	12回	122件	日田	玖珠町	毎月	12回	59件	九重町	隔月	6回	18件	佐伯	臼杵市	毎月	12回	98件	津久見市	隔月	6回	19件
	事務所	開催場所		開催頻度	開催数	相談件数																																																		
	大分	竹田市		毎月	12回	158件																																																		
		大野町		毎月	12回	32件																																																		
		三重町		毎月	12回	129件																																																		
		庄内町		隔月	6回	16件																																																		
		湯布院町		隔月	6回	14件																																																		
	別府	宇佐市		毎月	12回	118件																																																		
		豊後高田市		毎月	12回	122件																																																		
	日田	玖珠町		毎月	12回	59件																																																		
		九重町		隔月	6回	18件																																																		
	佐伯	臼杵市		毎月	12回	98件																																																		
		津久見市		隔月	6回	19件																																																		

18

計画		実績	総括及び課題															
特別支援学校	① 特別支援学校に対し、障害年金制度にかかる制度説明会のアプローチを積極的に行う。 ② 感染防止対策を徹底したうえで、特別支援学校での制度説明会を実施する。	① 県内の特別支援学校（10校）に対しアプローチを実施。 ② 下記の会場にて、対面式による制度説明会を実施 <table><tr><th>管轄</th><th>学校名</th><th>参加数</th></tr><tr><td>大分</td><td>大分県立竹田支援学校</td><td>10名</td></tr><tr><td>別府</td><td>大分県立別府支援学校</td><td>40名</td></tr><tr><td>日田</td><td>大分県立日田支援学校</td><td>8名</td></tr><tr><td>佐伯</td><td>大分県立臼杵支援学校</td><td>10名</td></tr></table>	管轄	学校名	参加数	大分	大分県立竹田支援学校	10名	別府	大分県立別府支援学校	40名	日田	大分県立日田支援学校	8名	佐伯	大分県立臼杵支援学校	10名	○ 特別支援学校の生徒は、将来、障害年金を受給する可能性が高く、保護者や教職員に対する制度説明は極めて重要であるとの認識から、重点的に取り組みを進める必要がある。
管轄	学校名	参加数																
大分	大分県立竹田支援学校	10名																
別府	大分県立別府支援学校	40名																
日田	大分県立日田支援学校	8名																
佐伯	大分県立臼杵支援学校	10名																
ハローワーク	① ハローワークと協力し、求職者や失業者に対する年金制度説明会及び国民年金保険料免除申請にかかる相談会を開催する。	① ハローワークにおいて、定期的に求職者や失業者に対する年金制度説明会および国民年金保険料免除申請にかかる相談会を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、実施ができなかった。そのため、ハローワークへ協力依頼を行い、失業保険給付の説明会の際、DVDによる制度説明動画にて制度説明と、国民年金加入届および免除申請書が同封された封筒の配布を行っていただいている。	○ 新型コロナウイルス感染症の影響により、令和4年度は予定していた取り組みが十分にはできなかったが、免除申請書の獲得が効率的に行えることから、引き続き取り組んでいく。															

19

○年金委員活動支援事業

計画		実績					総括及び課題
年金委員	① 定期的な研修会・意見交換会を開催する。	事務所	開催日	会議名	年金委員	参加数	○ 年金委員の活動は、職場や地域における制度周知・制度への理解に欠かせないことから、今後もしっかりとその活動をサポートする。
		大分	R4.7.8	大分年金委員会理事会三役会	職域	5名	
			R4.8.24	大分年金委員会理事会	職域	7名	
			R4.11.2	全国年金委員研修会	地域 職域	10名	
			R5.1.20	大分年金委員会理事会三役会	職域	4名	
			R5.2.15	大分年金委員会理事会	職域	9名	
		別府	R 4.8.9	別府年金委員会理事会	職域	5 名	
			R4.11.2	全国年金委員研修会	地域	4名	
		日田	R 4.7.14	日田年金委員会理事会	職域	6名	
			R4.11.2	全国年金委員研修会	地域 職域	8名	
		佐伯	R4.11.2	全国年金委員研修会	地域 職域	10名	
			R 5.3.15	佐伯年金委員会理事会	職域	3 名	

計画

実績

総括及び課題

② 各種情報提供及び制度周知の協力依頼を適時行う。

② 年金生活者支援給付金、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた各種対策、新たな制度等に関するリーフレットを定期的を送付し、地域での周知・広報の協力依頼を行った。
また、年金委員活動の推進・サポートを目的に、「地域型年金委員の手引き」「職域型年金委員の手引き」を送付した

計画

実績

総括及び課題

③ 年金委員の委嘱拡大に向け、事業所や関係機関に対しアプローチを行う。

③ 以下のとおり年金委員加入勧奨を行った。

勧奨結果（委嘱人数）：大分/職域型 69名、地域型 4名
別府/職域型 7名、地域型 2名
日田/職域型 14名、地域型 1名
佐伯/職域型 6名、地域型 1名

事務所	実施日		年金委員	対象数
大分	R4.6.1	加入勧奨文書発送	職域	226社
	R4.7.28	加入勧奨文書発送	職域	215社
	R5.1.11	加入勧奨文書発送	職域	103社
別府	R4.6.17	加入勧奨文書発送	職域	82社
	R5.1.11	加入勧奨文書発送	職域	132社
日田	R4.5.24	加入勧奨文書発送	職域	302社
	R4.5.27	加入勧奨文書発送	地域	8名
	R4.6.30	加入勧奨文書発送	職域	364社
	R4.11.21	加入勧奨文書発送	職域	650社
	R4.11.30	加入勧奨文書発送	地域	8名
	R5.2.17	加入勧奨文書発送	職域	34社

- 令和6年10月予定の短時間労働者の適用拡大については被保険者51人以上が対象となることから被保険者51人以上の事業所に対して優先的に勧奨実施



計画		実績					総括及び課題	
年金委員	④ 年金委員功労者表彰式を開催する ⑤ 大分県地域型年金委員連絡会を4半期ごとに開催し、大分県内の地域型年金委員の活動方針を決定する。	事務所	実施日	勸奨内容	年金委員	対象数	○ 新型コロナウイルス感染予防対策としてテレビ会議システムによるオンライン会議にて大分・別府・日田・佐伯の4年金事務所による合同会議。大分県内の地域型年金委員活動の計画及び活動報告を行った。 ○ 委員からは、公民館等へのポスター配布方法や、地域住民への地域型年金委員の存在の周知など、たくさんのご意見をいただいた。 平成5年度以降の活動の参考とさせていただきます。	
		佐伯	R4.8.3	加入勸奨文書発送	職域	81社		
			R4.11.10	加入勸奨文書発送	地域	12名		
		④ 令和4年11月18日に開催した。 ※詳細はP25「ねんきん月間」及び「年金の日」における取り組みに記載。						
		⑤ 以下のとおり大分県地域型年金委員連絡会を行った。						
		開催地	開催日	会議名	参加数			
		大分	R4. 6. 8	第1回大分県地域型年金委員連絡会	14名			
			R4. 9. 14	第2回大分県地域型年金委員連絡会	13名			
			R4. 12. 9	第3回大分県地域型年金委員連絡会	11名			
			R5. 2. 8	第4回大分県地域型年金委員連絡会	14名			

23

計画

実績

総括及び課題

- ⑥ 地域型年金委員地区連絡会（大分・別府・日田・佐伯）を4半期ごとに開催し、各地区における地域型年金委員の活動方針を決定する。

- ⑥ 以下のとおり地域型年金委員地区連絡会を行った。

開催地	開催日	会議名	参加数
大分	R4. 6. 8	第1回地域型年金委員大分地区連絡会	24名
	R4. 9. 14	第2回地域型年金委員大分地区連絡会	23名
	R4. 12. 9	第3回地域型年金委員大分地区連絡会	17名
	R5. 2. 8	第4回地域型年金委員大分地区連絡会	24名
別府	R4. 6. 8	第1回地域型年金委員別府地区連絡会	11名
	R4. 9. 14	第2回地域型年金委員別府地区連絡会	11名
	R4. 12. 9	第3回地域型年金委員別府地区連絡会	9名
	R5. 2. 8	第4回地域型年金委員別府地区連絡会	5名
日田	R4. 6. 8	第1回地域型年金委員日田地区連絡会	6名
	R4. 9. 14	第2回地域型年金委員日田地区連絡会	5名
	R4. 12. 9	第3回地域型年金委員日田地区連絡会	7名
	R5. 2. 8	第4回地域型年金委員日田地区連絡会	5名
佐伯	R4. 6. 8	第1回地域型年金委員佐伯地区連絡会	7名
	R4. 9. 14	第2回地域型年金委員佐伯地区連絡会	7名
	R4. 12. 9	第3回地域型年金委員佐伯地区連絡会	4名
	R5. 2. 8	第4回地域型年金委員別府地区連絡会	6名

- 令和4年度は、都道府県単位の「地域型年金委員連絡会」に引き続き年金事務所単位の「地区連絡会」をそれぞれ4回開催した。
- 各地区連絡会では、周知活動での自治会の回覧板利用や、説明会を開催する場合の年金事務所のフォローなどについてたくさんのご意見をいただいた。

○「ねんきん月間」及び「年金の日」における取り組み

計画	実績	総括及び課題
年金委員表彰式 ① 年金委員功労者表彰伝達式を開催する。	① 令和4年11月18日 トキハ会館にて開催。 「新型コロナウイルス」感染防止対策を行い実施した。 表彰伝達式は健康保険委員表彰伝達式と合同で行われ、日本年金機構と全国健康保険協会大分支部との共催で行われた。 年金委員の表彰者数 厚生労働大臣表彰・・・・・・・・・・1名 日本年金機構理事長表彰・・・・・・3名 日本年金機構理事表彰・・・・・・1名 健康保険委員の表彰 全国健康保険協会理事長表彰・・7名 大分支部長表彰・・・・・・・・・・16名	○ 感染拡大防止のため、関係者のみの表彰伝達式とした。
各拠点の取り組み ① 各拠点において、公的年金制度を積極的にPRするための独自の取り組みを実施する。	① 市町村、年金委員にポスター・リーフレットを送付し、「ねんきん月間」「年金の日」にかかる取り組みについての周知・広報の協力依頼を行った。また、大分県庁県政記者室へ令和4年11月8日に「ねんきん月間及び年金の日のお知らせ」の内容でプレスリリースを行い、幅広い層への周知活動を実施した。	○ 広く国民の皆様には年金制度を知っていただく大切な機会であることから、より工夫を凝らした取り組みを検討する。

計画

実績

総括及び課題

- ① 「わたしと年金」エッセイ募集に係る広報・アプローチを積極的に行う。

- ① 取組結果として以下のとおり

管 轄	学校名	応募作品数
大分年金事務所	大分市大在中学校 (新規)	27
大分年金事務所	大分東明高等学校	146

※令和4年度受賞作品は、日本年金機構ホームページで閲覧可能。

- 地域年金推進員と積極的に連携、大分県庁県政記者室へのプレスリリースなどで夏休みの宿題等として、より多数の募集となるよう、入選作品集の送付など、引き続き広報活動に力を入れる。
- 「わたしと年金」エッセイ入選作品集は、全世代に年金制度の大切さを知ってもらうための有効なツールとなることから、積極的に年金制度の周知広報活動に活用していく。

○地域年金事業運営調整会議

計画		実績	総括及び課題
運営調整会議	① 地域年金事業運営調整会議を年2回（9月・2月）開催し、取り組み状況を報告する。	① 令和4年9月16日 トキハ会館にて開催 地域年金事業運営調整会議委員11名出席 <主な議題> ・令和3年度事業実施結果報告 ・オンラインビジネスモデルの実現 ・新型コロナウイルス感染症への対策 ・令和4年度事業計画 ② 令和5年2月3日 トキハ会館にて開催 地域年金事業運営調整会議委員10名出席	○ 令和元年度第2回から4回続けて書面開催となっていたが、令和4年度の上期からは集合形式での開催となった。 ○ 集合しての開催となり委員の皆様のご意見がしっかりと伺いできたことで、今後の地域年金展開事業の施策に大きくつなげることができた。 ○ 今後、地域年金事業運営調整会議をはじめ各種会議や研修について、オンラインを活用した開催が可能となるよう機構本部と連携して取り組んでいく。
	委員への情報提供	① 地域年金事業運営調整会議委員に対し、年金制度や事業に関する情報提供を行う。	
提言への対応	① これまでいただいた会議における提言を取り組みに反映させる。	① いただいた主なご意見について、引き続き検討を進めより効果的な取り組みや新たな観点からの施策につなげていく。 ○令和4年度上期の提言 ・日本年金機構と全国健康保険協会が連携して双方の委員を拡大 ・大学、専門学校への年金セミナー拡大 ・出張年金相談のリモート化、機構職員の関連事業の知識習得 ・社会保険適用拡大の資料の改善	（調整会議内での回答） ・情報の共有ができていない状況 ・引き続き勧奨を行う。 ・大分においてはリモート化の予定なし。 ・機会をとらえて行う。 ・本部へ対応依頼。

計画

実績

総括及び課題

提言への対応

○令和4年度下期の提言

- ・オンラインを活用したWeb説明会だけではなく、ハード面の整備が困難な中小企業向けに、対面での開催もお願いしたい。
- ・年金セミナーの開催について、アプローチ先としてPTAや父兄など違う方面から勧奨していくとよいのではないかな。
- ・免除をした場合、将来の年金額がどうなるのか知らない方が多い、年金セミナーの中でそういった給付の説明もしていただきたい。

(調整会議内での回答)

- ・令和4年度の年金セミナー、制度説明会の開催はすべて対面式で開催、今後もケースバイケースで対応したい。
- ・学校のカリキュラムの影響が大きく影響するが、年金機構以外の行政機関も多く、のセミナー開催を勧奨しているところであり引き続き取組を行う。
- ・年金制度説明会や年金事務所での説明においても実例を交えながらわかりやすい説明を行っていききたい。

3. 令和5年度事業計画

令和5年度 重点取組事項

地域年金展開事業は、地域、教育、企業の中での年金制度に対する理解をより深め、制度加入や保険料納付に結び付けるため取組を行っている。

令和5年度については、国民の皆様に対し、制度を知らないことによる不利益を生じさせないための情報提供を目的とした取組を効果的に実施する。

【令和5年度重点取組内容】

- 若年層への制度周知
年金セミナーの実施
- 企業担当者向けの制度周知
企業担当者向け年金制度説明会の実施
- 年金委員活動の活性化
年金委員活動に必要な情報提供の実施
年金委員の委嘱拡大

（１）市町村、自治会、事業所、関係機関との協力連携

市町村、自治会、事業所及び関係機関・団体等に対し、あるいは、これらの機関と連携し、年金制度説明会をはじめとする、地域に根付いた情報提供活動を実施する。

- ① 関係機関・関係団体との連携による周知・啓発
 - ・市町村、ハローワーク、税務署等に、窓口での年金制度に関するポスターの掲示及びリーフレットの設置を依頼し、地域住民への情報提供の充実を図る。
 - ・関係機関の会議や研修会に参加し、年金制度や事業に関する情報提供を行う。
- ② 市町村広報誌等による周知・啓発
 - ・市町村広報誌等を活用し、出張年金相談の日程や年金制度に関する情報提供を行う。
 - ・社会保険協会発行の広報誌に事務手続きに関する記事等を掲載する。
- ③ 年金制度説明会の開催
 - ・地域住民及び企業や団体の従業員を対象とした年金制度説明会を積極的に開催する。
 - ・開催にあたっては、各団体のニーズや環境に応じた年金制度説明会を開催する。
- ④ 関係機関・関係団体との連携強化
 - ・市町村担当者への研修や事務打合せ会を定期的に行う。
 - ・市町村担当者向け情報誌「かけはし」を年6回（奇数月）送付し、情報提供を行う。
 - ・関係機関のニーズを十分聞き取り、効果的な情報提供・制度説明会を実施する。

(2) 地域における相談事業

地域住民のニーズに応えるとともに年金制度への理解を深めていただくため、自治体や教育機関、商業施設等に出向き、出張年金相談を実施する。

- ① 市町村等における出張年金相談の実施
 - ・年金事務所から遠隔地の市町村に赴き、定期的に出張年金相談を開催する。
- ② 社会福祉施設における障害年金制度説明会の開催
 - ・特別支援学校等に対し、障害年金制度に関する制度説明会開催のアプローチを積極的に行う。
 - ・特別支援学校等の教職員や保護者に対し、制度説明会を開催する。
- ③ ハローワークでの雇用保険受給者説明会にあわせた制度説明会や国民年金保険料免除申請にかかる相談会等の開催
- ④ 「ねんきん月間」を活用し、多様な方法により公的年金制度の周知・広報を実施
- ⑤ 企業や団体の従業員等に対する年金制度説明会の開催
 - ・企業や団体等に対する制度説明会を通じて、電子申請やねんきんネット、制度改正事項等について、広く周知・広報する。
 - ・開催にあたっては、オンラインを積極的に活用する。

（３）教育機関を対象とした年金セミナー事業

中学生や高校生、大学生等の若い世代を対象に、公的年金の大切さを知り、制度への理解を深めていただくため、各種教育機関と連携し、年金セミナーを実施する。

① 年金セミナー開催に向けたアプローチ

- ・教育関係機関に対し、中学校や高校での年金セミナー開催に向けた協力依頼を行う。
- ・中学校、高校、大学、専門学校等に対し、リーフレットやセミナー動画（DVD）の送付、電話勧奨等のアプローチを積極的に行う。

② オンラインを活用した年金セミナーの推進

- ・Web会議ツールを活用した非対面での年金セミナーの拡大を図る。
- ・非対面型セミナーの他、対面によるセミナー、セミナー動画（DVD）の視聴など、各学校のニーズや環境に応じたセミナーを開催する。
- ・実施後のアンケートや先生方のご意見をもとに、適宜、実施方法や教材の見直しを図る。

③ 地域年金推進員の活用

- ・地域年金推進員が高校、大学、専門学校等を訪問し、リーフレットを活用した説明及び年金セミナー開催のアプローチを行う。
- ・地域年金推進員に対する研修や連絡会議を開催し、意見交換・情報共有を行う。

（４）年金委員活動の活性化・委嘱拡大

年金委員は、国民年金の納付率向上、無年金者・低年金者の防止に貢献していただく、地域や職場での制度周知・理解の促進に欠かせない存在である。

年金制度に関する研修会や情報提供を充実させることより、年金委員活動の活性化とサポート体制の強化を図るとともに、年金委員の意義・やりがいをしっかりとアピールし、委嘱拡大に取り組む。

① 定期的な研修会・意見交換会の開催

- ・厚生労働省からの通知に基づき、制度改正事項や重点協力依頼事項を中心とした研修会・意見交換会を開催する。

② 積極的な情報提供及び制度周知への協力依頼

- ・新規委嘱の年金委員に対し「年金委員活動の手引き」を送付する。
- ・各種啓発資料（退職後の年金手続きガイド、アニュアルレポート等）を送付するなど、積極的に情報提供を行う。
- ・地域型年金委員及び職域型年金委員と連携し、地域住民及び企業の従業員への制度周知や情報提供を行う。

③ 委嘱数拡大に向けた取り組み

- ・職域型年金委員については、年金委員未設置事業所に推薦依頼文書を送付する。
- ・定年退職等による職域型年金委員の辞退者の際には、後任の推薦依頼を丁寧かつ確実に行う。
- ・地域型年金委員については、推薦母体となる関係団体に対し、積極的に推薦依頼を行う。

(5) 「ねんきん月間」及び「年金の日」における取り組み

11月の「ねんきん月間」や11月30日の「年金の日」において、各年金事務所が創意工夫し、公的年金制度の普及・啓発活動を積極的に実施する。

- ① 年金委員功労者表彰式の開催
- ② 各年金事務所における公的年金制度の普及・啓発活動の実施
- ③ 「わたしと年金」エッセイ募集
 - ・教育機関や関係団体に対し広報及びアプローチを積極的に行い、応募数の増加を図るとともに、応募のあった教育機関に対し感謝状を贈呈するなど、次回応募に向けての取り組みを図る。

(6) 地域年金事業運営調整会議

地域、教育機関、企業の中での年金制度の周知・理解・支援のネットワークの強化並びに地域年金展開事業の推進を図るため、地域年金事業運営調整会議を開催する。

- ① 開催時期
 - ・毎年7月（今年度より、原則年1回とする）
- ② 主な議事
 - ・事業計画、事業実施結果の報告、事業における重点施策 など

4. 参考資料

- (1) 大分県の厚生年金保険・国民年金保険の状況
- (2) 各年金事務所の国民年金被保険者数及び納付状況
- (3) 地域型年金委員数の推移（令和4年4月～令和5年3月）
- (4) 職域型年金委員数の推移（令和4年4月～令和5年3月）

（１）大分県の厚生年金保険・国民年金の状況

① 加入・納付の状況令和４年度（令和５年３月末）

区分	被保険者数				納付率 (※1)	免除率 (※2)
	第1号	任意加入（第1号）	第3号	計		
国民年金	106,910人	1,182人	57,379人	165,471人	73.90%	52.1%

区分	適用事業所数	被保険者数	収納率
厚生年金保険	23,658事業所	268,731人	97.84%

② 受給の状況（令和５年３月末現在）

年金の種類		受給権者数	受給年金額合計
国民年金	老齢給付	360,383人	235,423,304千円
	障害給付	25,268人	21,596,297千円
	遺族給付	1,995人	1,496,399千円
	合 計	387,646人	258,516,000千円
厚生年金保険	老齢給付	316,073人	165,834,366千円
	障害給付	7,550人	4,822,052千円
	遺族給付	58,636人	46,626,375千円
	合 計	382,259人	217,282,793千円

※受給権者数については、国民年金と厚生年金保険で一部重複しています。

(※1) 納付率とは…

「納付すべき被保険者」が有する「納付すべき月数」のうち、「納付された月数」の割合

(※2) 免除率とは…

第1号被保険者のうち、「学生納付特例者・納付猶予者・全額免除者」の割合

$(4 + 5 + 6) \div (2 + 3 + 4 + 5 + 6)$

① 任意加入者	第1号被保険者				
	② その他	③ 一部免除者	④ 学生納付特例者	⑤ 納付猶予者	⑥ 全額免除者
納付すべき被保険者					

(2) 各年金事務所の国民年金被保険者数及び納付状況

① 国民年金被保険者数 令和4年度（令和5年3月末）

事務所	第1号		第3号	計
		(再掲：任意加入)		
全国	14,047,188人	(198,203人)	7,211,605人	21,258,793人
九州	1,591,674人	(16,862人)	725,257人	2,316,931人
大分県	106,910人	(1,182人)	57,379人	165,471人
大分	52,984人	(616人)	33,555人	87,155人
別府	35,162人	(369人)	16,052人	51,583人
日田	8,069人	(55人)	3,226人	11,350人
佐伯	10,695人	(142人)	4,546人	15,383人

② 国民年金保険料現年度納付率

事務所	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
全国	69.25%	71.49%	73.85%	76.07%
九州	66.09%	68.78%	71.31%	73.51%
大分県	67.57%	68.85%	71.52%	73.90%
大分	66.77%	68.42%	71.35%	73.87%
別府	65.99%	66.48%	68.62%	71.17%
日田	70.48%	71.72%	74.51%	76.34%
佐伯	73.04%	75.23%	78.51%	80.42%

(3) 地域型年金委員数の推移 (令和4年4月～令和5年3月)

		R 4.3	R 4.4	R 4.5	R 4.6	R 4.7	R 4.8	R 4.9	R 4.10	R 4.11	R 4.12	R 5.1	R 5.2	R 5.3
大分	現存数	42	44	44	44	44	44	44	44	44	44	44	46	46
	前月との比較		2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
	R 4.3との比較		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	4	4
別府	現存数	19	19	19	19	20	20	20	20	20	20	20	21	21
	前月との比較		0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0
	R 4.3との比較		0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	2	2
日田	現存数	7	7	7	7	7	7	7	7	7	8	8	8	8
	前月との比較		0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
	R 4.3との比較		0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1
佐伯	現存数	7	7	7	7	7	7	7	7	8	8	8	8	8
	前月との比較		0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
	R 4.3との比較		0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1
計	現存数	75	77	77	77	78	78	78	78	79	80	80	83	83
	前月との比較		2	0	0	1	0	0	0	1	1	0	3	0
	R 4.3との比較		2	2	2	3	3	3	3	4	5	5	8	8

(4) 職域型年金委員数の推移 (令和4年4月～令和5年3月)

		R 4.3	R 4.4	R 4.5	R 4.6	R 4.7	R 4.8	R 4.9	R 4.10	R 4.11	R 4.12	R 5.1	R 5.2	R 5.3
大分	現存数	810	810	806	823	826	845	845	846	846	850	853	860	860
	前月との比較		0	-4	17	3	19	0	1	0	4	3	7	0
	R 4.3との比較		0	-4	13	16	35	35	36	36	40	43	50	50
別府	現存数	425	424	421	424	431	431	430	430	432	433	436	437	438
	前月との比較		-1	-3	3	7	0	-1	0	2	1	3	1	1
	R 4.3との比較		-1	-4	-1	6	6	5	5	7	8	11	12	13
日田	現存数	168	168	171	173	177	176	176	176	176	182	183	183	182
	前月との比較		0	3	2	4	-1	0	0	0	6	1	0	-1
	R 4.3との比較		0	3	5	9	8	8	8	8	14	15	15	14
佐伯	現存数	165	165	153	150	150	152	153	155	155	155	154	156	155
	前月との比較		0	-12	-3	0	2	1	2	0	0	-1	2	-1
	R 4.3との比較		0	-12	-15	-15	-13	-12	-10	-10	-10	-11	-9	-10
計	現存数		1567	1551	1570	1584	1604	1604	1607	1609	1620	1626	1636	1635
	前月との比較		-1	-16	19	14	20	0	3	2	11	6	10	-1
	R 4.3との比較		-1	-17	2	16	36	36	39	41	52	58	68	67